



# 株式会社メニコン

## 2022年3月期 決算説明資料

証券コード : 7780



2022年5月12日



# 目次

I .2022年 3 月期 連結業績概要

II .2023年 3 月期通期 連結業績予想

III .中期経営計画の進捗

IV .成長戦略

## I .2022年3月期 連結業績概要

### ➤ 決算のポイント

売上高：前年同期比 **+139.6億円 +16.2% (増収)**

- ✓ メルスプラン累計会員数：**134万人** 1DAY会員数が増加
- ✓ 中国販売拠点(板橋貿易)のグループ加入により海外売上高伸長  
海外売上高：151.9億円 → **257.2億円 (+69.3%)**  
海外売上高比率：17.6% → **25.7%**

売上総利益：前年同期比 **+70.6億円 +15.4% (増益)**

原価率：46.9% → 47.2%

営業利益：前年同期比 **+18.5億円 +22.8% (増益)**

営業利益率：9.4% → 9.9%

# 決算のポイント

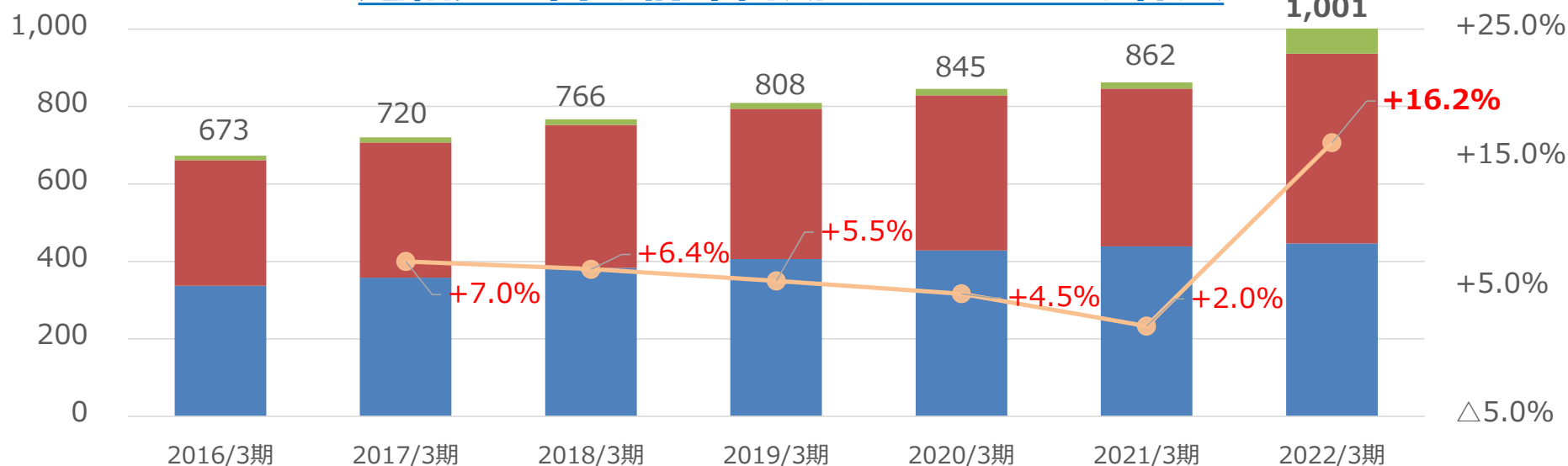
- ✓ ビジョンケア売上 … 国内：メルスプランの1DAY会員数増加による平均月会費上昇  
海外：アジア（中国）を中心にオルソケラトロジーレンズ及び  
レンズケアの販売数増加
- ✓ ヘルスケア・ライフケア売上 … 食品事業(2021年1月完全子会社化の板橋貿易)の加算

連結売上高  
(億円)

連結売上高推移

前年同期比

## 連結売上高は前年同期比+16.2%の伸長



■メルスプラン ■物販\* ■ヘルスケア・ライフケア ●前年同期比 ※物販：コンタクトレンズ・レンズケア売上

## 2022年3月期 連結業績サマリー

百万円

	2021年3月期	2022年3月期	増減額	前年同期比
売上高	<b>86,209</b>	<b>100,172</b>	<b>+13,963</b>	<b>+16.2%</b>
売上原価	40,392	47,293	+6,901	+17.1%
(原価率)	46.9%	47.2%	---	(+0.3pt)
売上総利益	45,817	52,879	+7,062	+15.4%
販売費及び一般管理費	37,710	42,922	+5,211	+13.8%
(売上高販管费率)	43.7%	42.8%	---	(△0.9pt)
営業利益	<b>8,106</b>	<b>9,957</b>	<b>+1,850</b>	<b>+22.8%</b>
(売上高営業利益率)	9.4%	9.9%	---	(+0.5pt)
経常利益	<b>8,348</b>	<b>10,055</b>	<b>+1,707</b>	<b>+20.5%</b>
親会社株主に帰属する当期純利益	<b>5,952</b>	<b>6,481</b>	<b>+529</b>	<b>+8.9%</b>
1株当たり当期純利益	78.84円	85.72円	+6.88円	---

35/38

## 売上高の内訳

	2021年3月期	2022年3月期	増減額	前年同期比	百万円
連結売上高	86,209	100,172	+13,963	+16.2%	
① ビジヨンケア	84,529	93,639	+9,110	+10.8%	
国内売上高	69,395	71,404	+2,008	+2.9%	
メルスプラン	43,850	44,639	+788	+1.8%	
物販※1・その他	25,545	26,765	+1,220	+4.8%	
海外売上高	15,133	22,234	+7,101	+46.9%	
欧州	8,177	9,052	+875	+10.7%	
北米	744	1,126	+381	+51.3%	
アジア※2	5,745	11,554	+5,809	+101.1%	
オセアニア・アフリカ等	466	501	+34	+7.5%	
② ヘルスケア・ライフケア	1,680	6,533	+4,852	+288.8%	
国内売上高	1,619	3,045	+1,426	+88.1%	
海外売上高	61	3,487	+3,426	+5,592.2%	

※1 「物販」はコンタクトレンズ・レンズケアを指します。

※2 2021年3月期は「アジア」に国内の代理店を通じた中国への主要な輸出を含んでいます。

## 連結売上高

# 1,001億円

前年同期比 +139.6億円※  
(+16.2%)

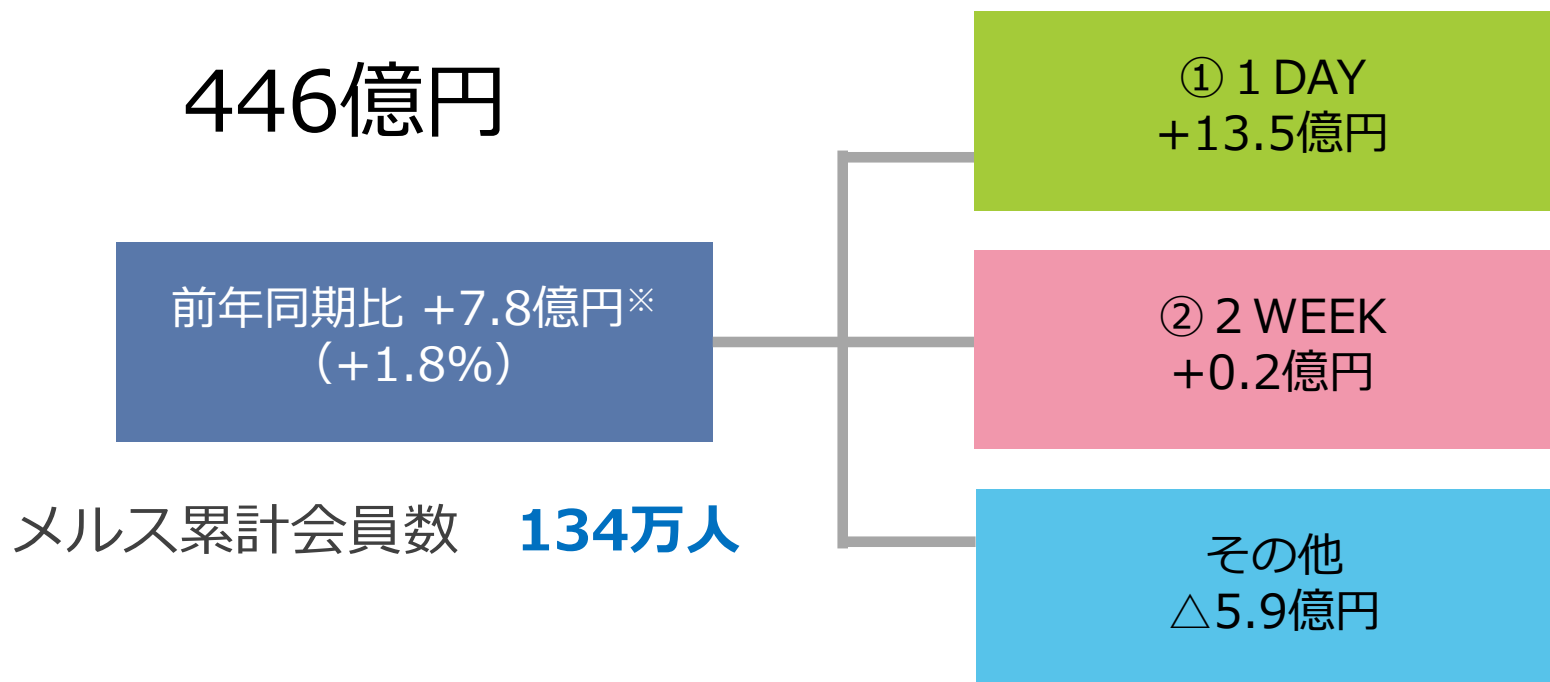
①ビジョンケア売上  
+91.1億円

②ヘルスケア・ライフケア売上  
+48.5億円

### 主な理由

- ①アジア及び欧州地域を中心とした海外売上高の伸長
- ②板橋貿易による食品事業の加算

※収益認識に関する会計基準等の適用による影響額：△13.7億円を含む。



主な理由

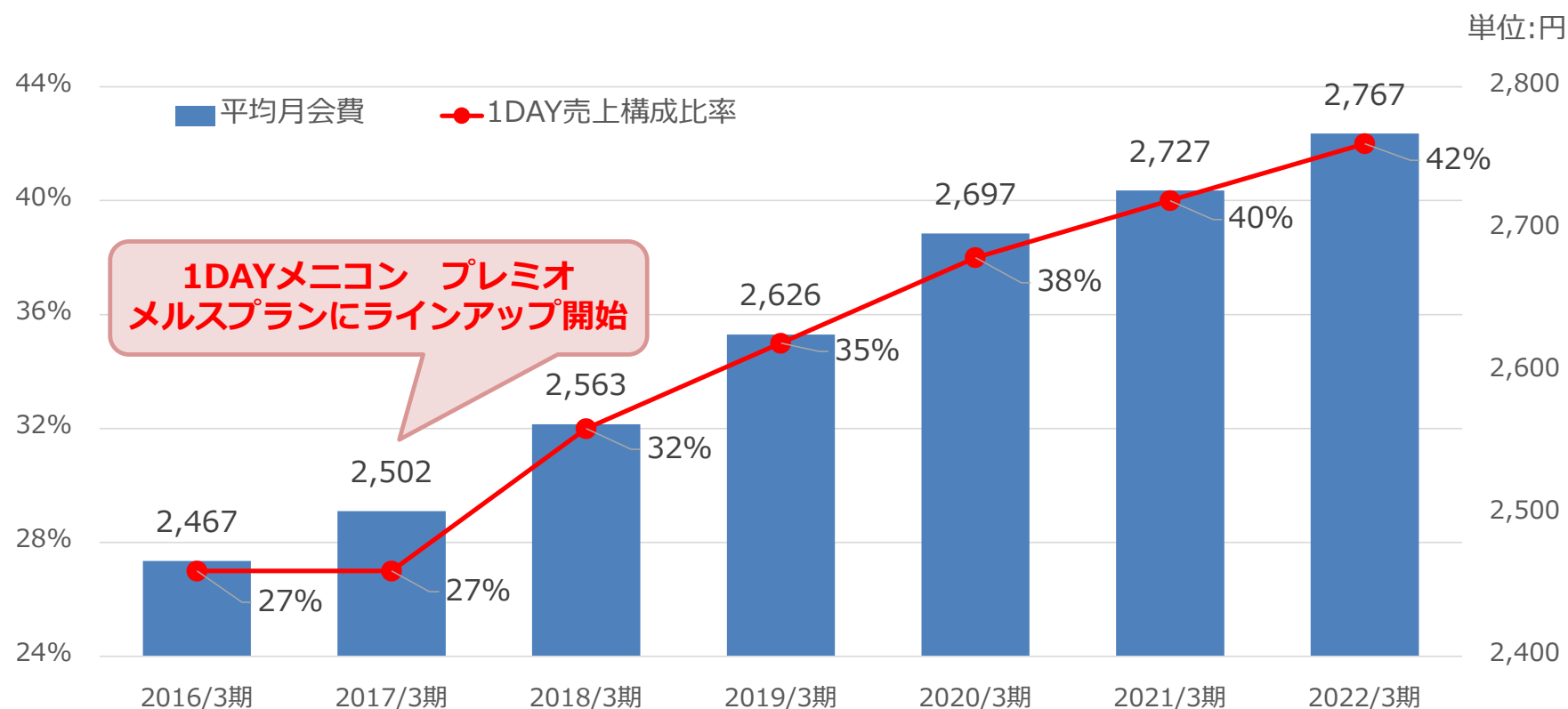
- ① 1 DAY会員数が伸長
- ② 高単価の遠近両用タイプの伸長

※収益認識に関する会計基準等の適用による影響額：△3.2億円を含む。



## メルスプラン 1 DAY構成比

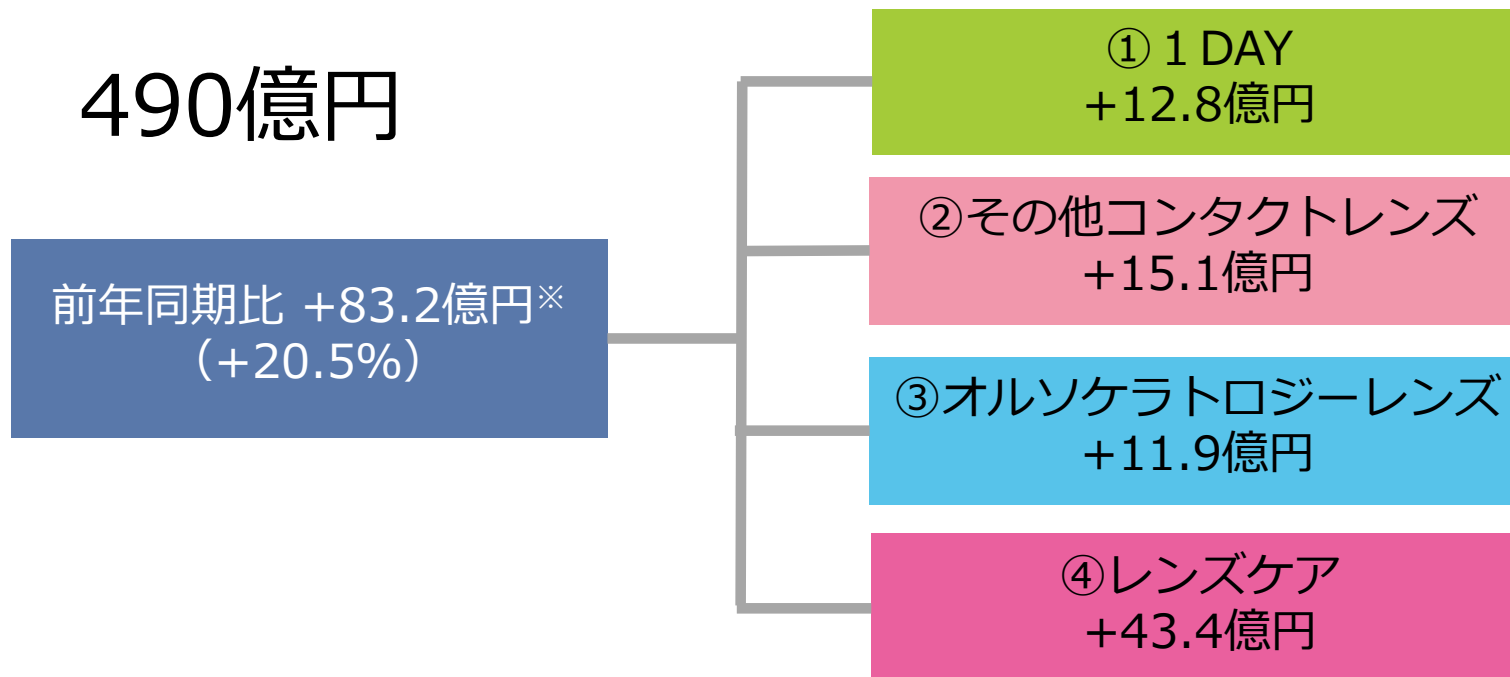
- ✓ メルスプランにおける1 DAY売上高の構成比は上昇。
- ✓ 平均月会費が上昇し、メルスプランの売上高上昇に寄与。



ビジョンケア  
物販(国内&海外)

売上高の内訳

# コンタクトレンズ・レンズケア売上



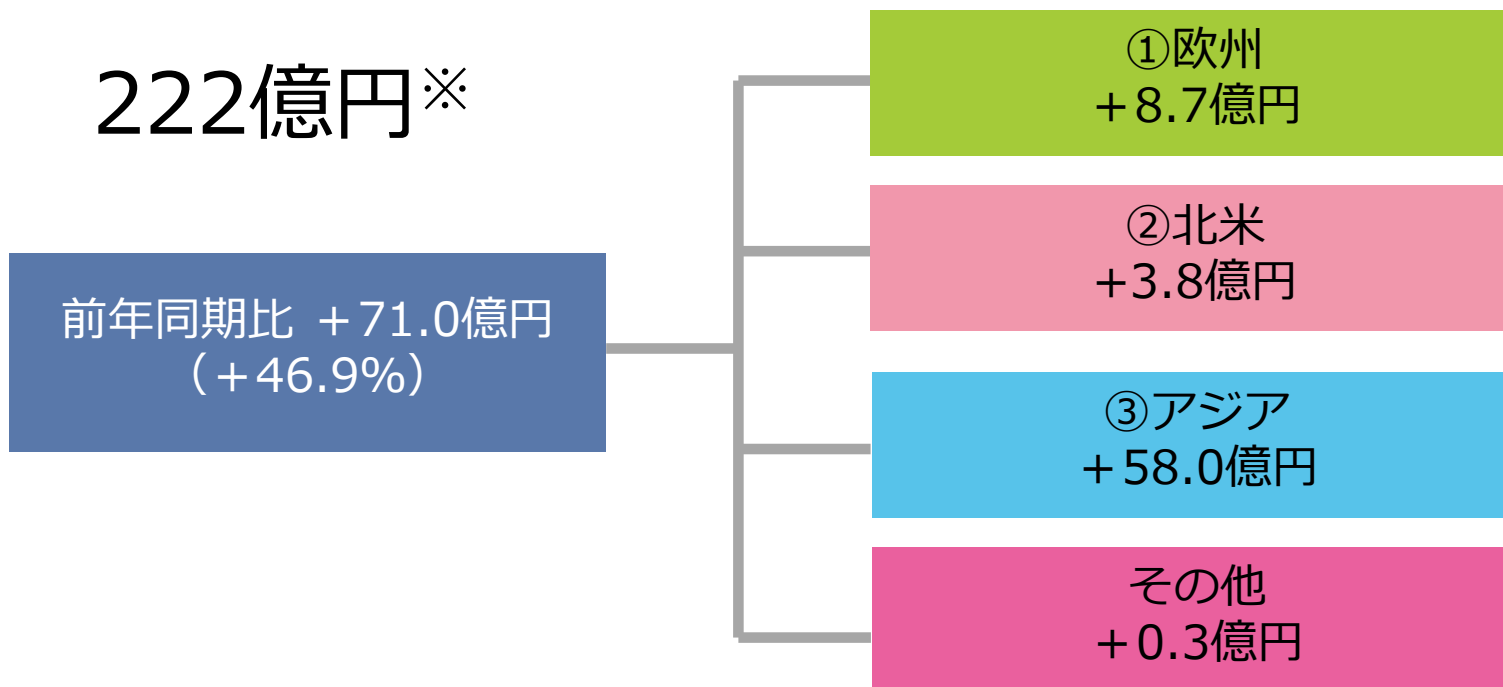
## 主な理由

- ①②国内外の需要回復による売上伸長
- ③④中国での販売が伸長

※収益認識に関する会計基準等の適用による影響額：△8.9億円を含む。

ビジョンケア  
物販(海外)

売上高の内訳 海外売上高 (地域別)



主な理由  
 ①欧州:ディスポーザブルコンタクトレンズ (1DAY・1MONTH) が伸長  
 ②北米:1DAYとレンズケアが伸長  
 ③アジア:オルソケラトロジーレンズ・レンズケアが伸長

※中国法人と当社は決算期が異なるため、当社通期決算には中国法人の通期決算(1-12月)を取り込み。

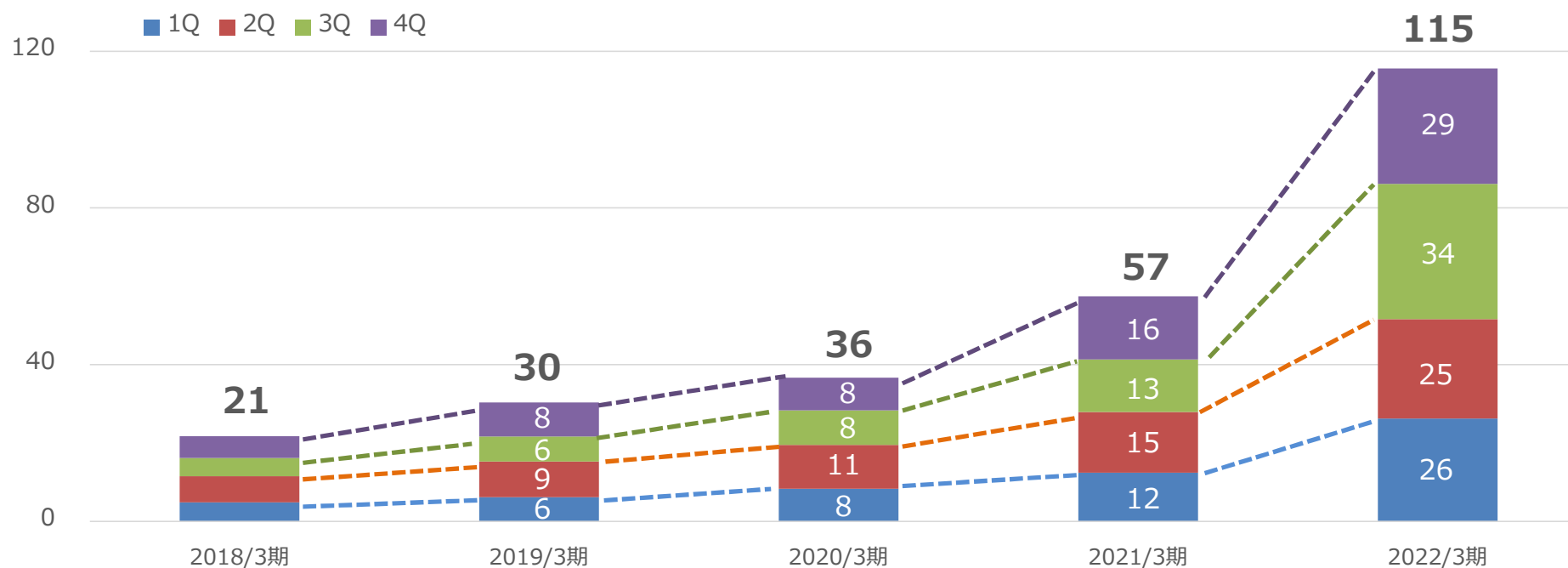
ビジョンケア  
物販(海外)

# 海外売上高 (アジア)

- ✓ 中国に営業拠点を持つ板橋貿易のグループ化により、アジア売上は伸長
- ✓ 引き続き、中国にてオルソケラトロジーレンズ及びレンズケアを拡販

単位:億円

アジア売上高 (ビジョンケア)



※2021年3月期以前は、国内の代理店を通じた中国への主要な輸出を含んでいます。 28/38

65億円

前年同期比 +48.5億円※  
(+288.8%)

①食品事業  
+44.5億円

②その他  
+4.0億円

主な理由

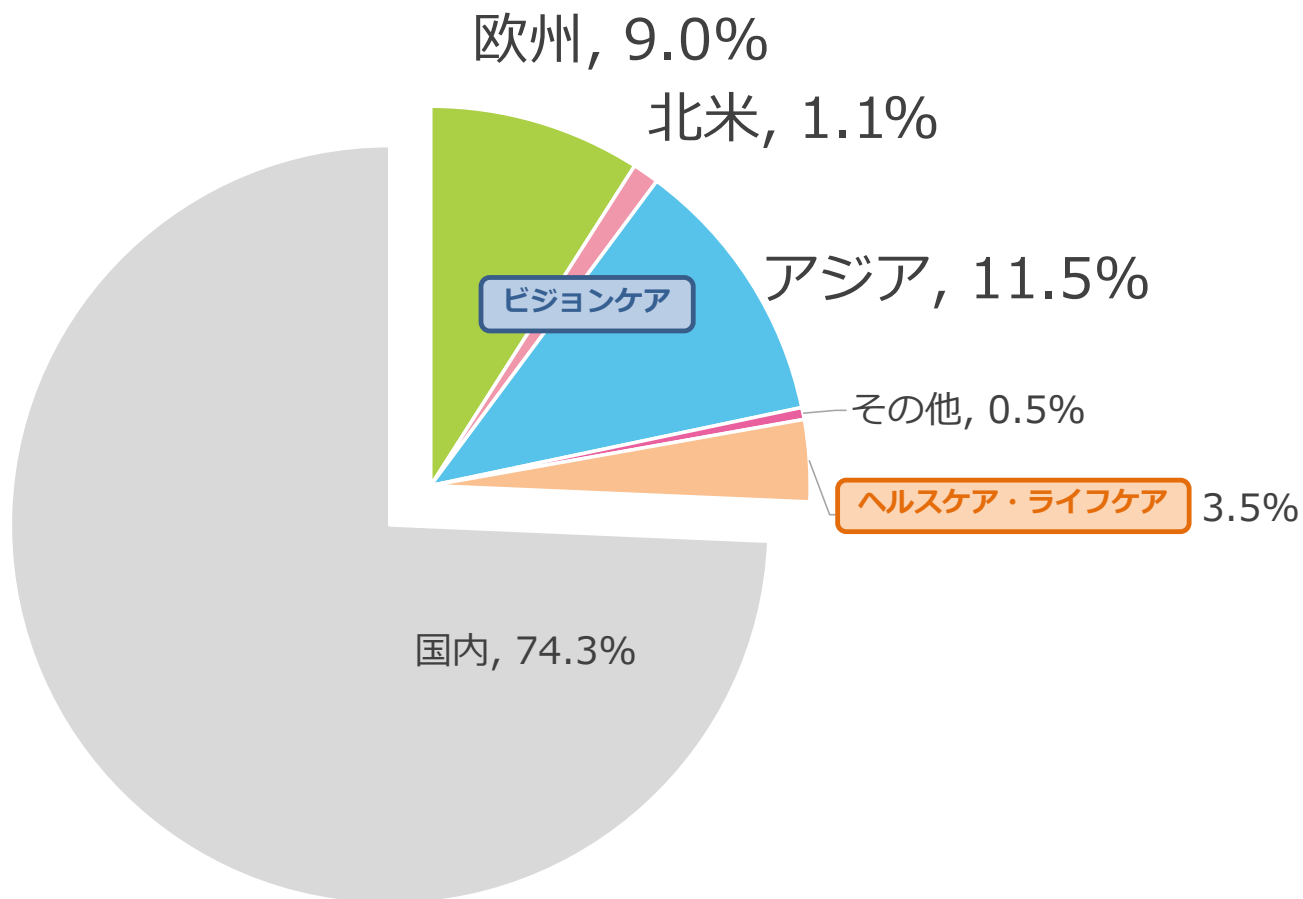
- ①板橋貿易による食品事業の加算
- ②動物医療事業(メニワン),環境バイオ事業等の売上伸長

※収益認識に関する会計基準等の適用による影響額：△1.6億円を含む。

ビジョンケア

ヘルスケア・ライフケア

# 海外売上高比率



海外売上高比率

2021/3期  
17.6% (151.9億円)

↓ **+8.1pt**

2022/3期  
25.7% (257.2億円)

# 連結営業利益

## 99億円

前年同期比 +18.5億円<sup>※1</sup>  
(+22.8%)

①売上総利益  
+70.6億円

②販売費及び一般管理費  
△52.1億円

### 主な理由

①②グループ会社の増加<sup>※2</sup>により売上総利益及び販管費は増加  
営業利益率：9.4% → 9.9% (+0.5pt)  
販管費の効率的な使用により利益率が上昇

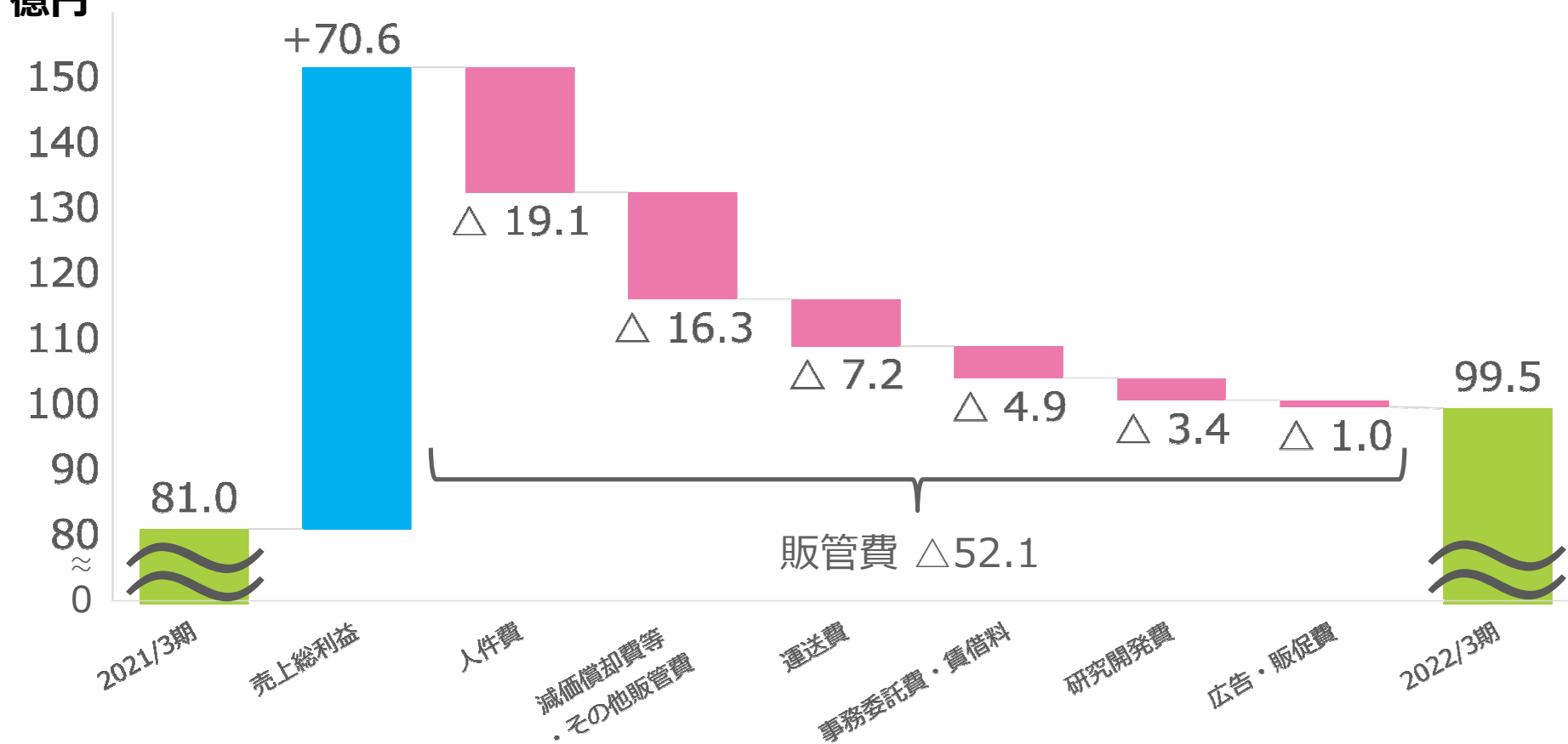
※1 収益認識に関する会計基準等の適用による影響額：△0.8億円を含む。

※2 ハマノコンタクト及び板橋貿易グループ

# 連結営業利益分析

## 売上総利益の増加

億円





# 連結貸借対照表サマリー

百万円

	2021年 3月31日	2022年 3月31日	増減額
現金・預金	41,455	33,046	△8,408
受取手形・売掛金	10,735	11,269	+534
棚卸資産	15,501	15,785	+283
その他	2,515	4,086	+1,570
流動資産	70,207	64,188	△6,019
有形固定資産	39,301	49,421	+10,119
無形固定資産	12,627	11,601	△1,025
投資その他	5,017	5,767	+749
固定資産	56,946	66,790	+9,844
資産合計	127,153	130,978	+3,824

固定資産  
取得による  
現預金支出

工場設立及び  
生産設備への  
投資等

	2021年 3月31日	2022年 3月31日	増減額
支払手形・買掛金	4,205	4,894	+689
短期有利子負債	4,968	4,800	△167
未払金	5,167	4,748	△418
その他	8,188	8,244	+55
流動負債	22,530	22,688	+158
長期有利子負債	17,470	14,735	△2,735
転換社債型 新株予約権付社債	22,868	22,902	+34
その他	3,299	3,606	+306
固定負債	43,638	41,244	△2,393
負債合計	66,168	63,933	△2,235
純資産合計	60,985	67,045	+6,060

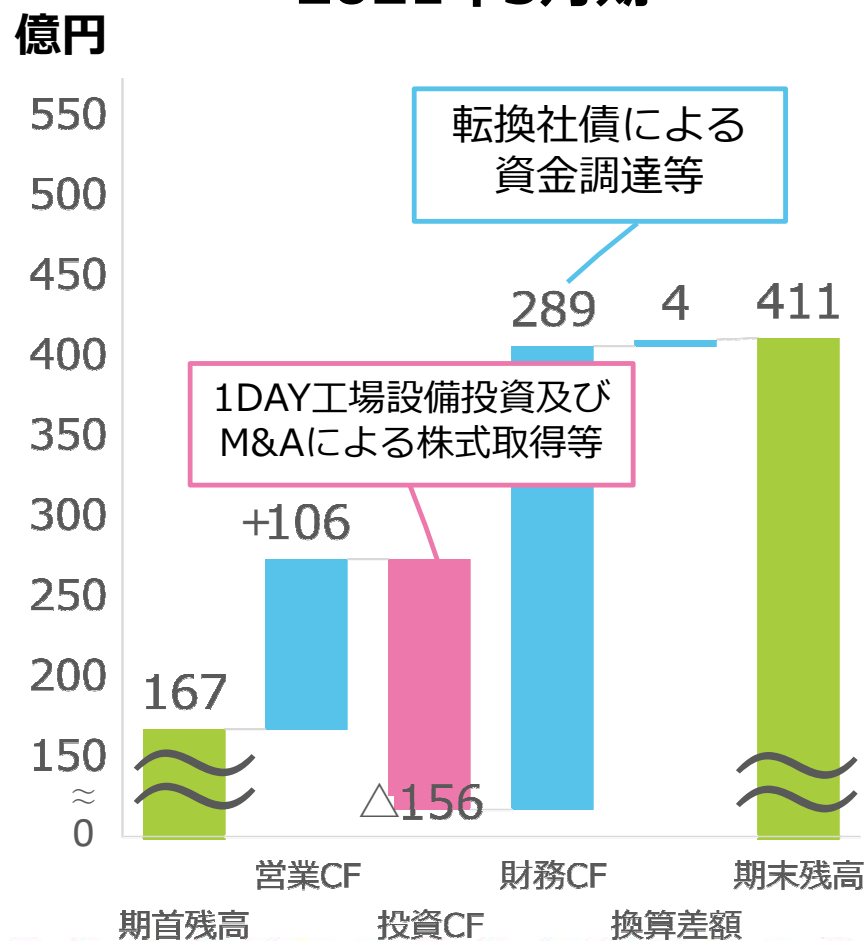
社債の償還  
及び借入の  
返済等

2022年3月31日

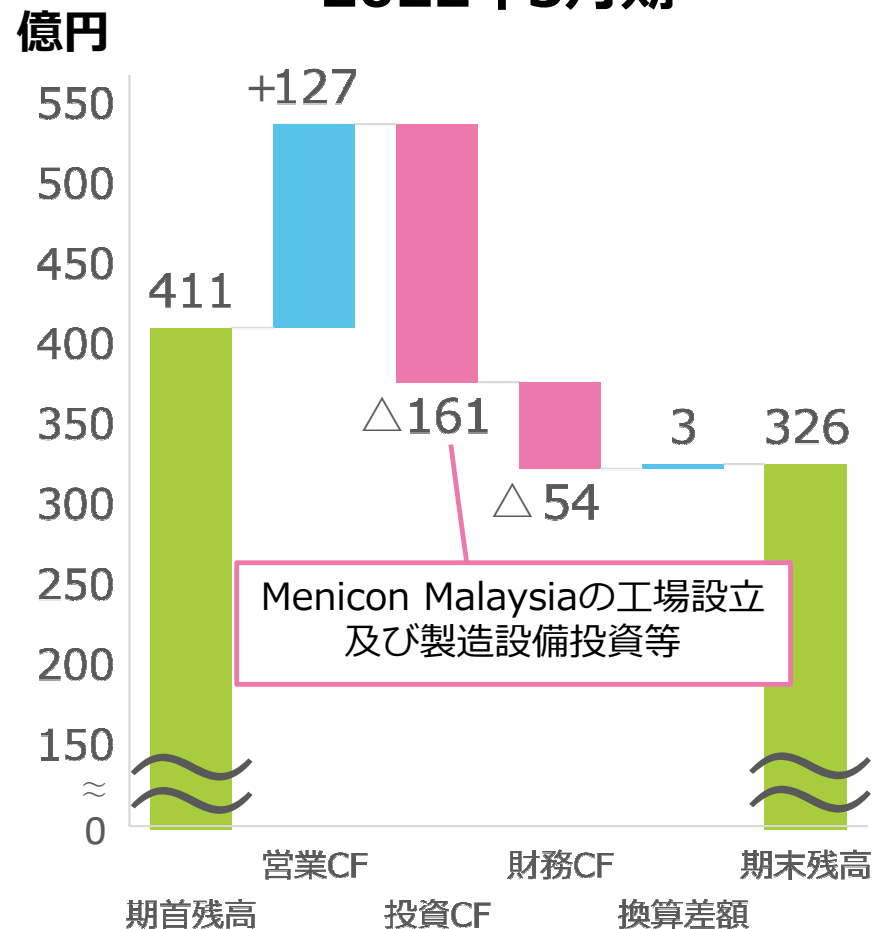
自己資本比率	49.7%
現金・預金残高	33,046
有利子負債	42,439

# 連結キャッシュ・フロー比較

## 2021年3月期



## 2022年3月期



## Ⅱ.2023年3月期通期 連結業績予想

売上高：通期予想 1,078億円

前年同期比 **+76億円 +7.6%**

- ・メルスプラン：累計会員数136万人を予想
- ・物販：1 DAY(国内・欧米)及びオルソケラトロジーレンズとレンズケア(中国)の販売伸長を予想

売上総利益：通期予想 573億円

前年同期比 **+44億円 +8.4%**

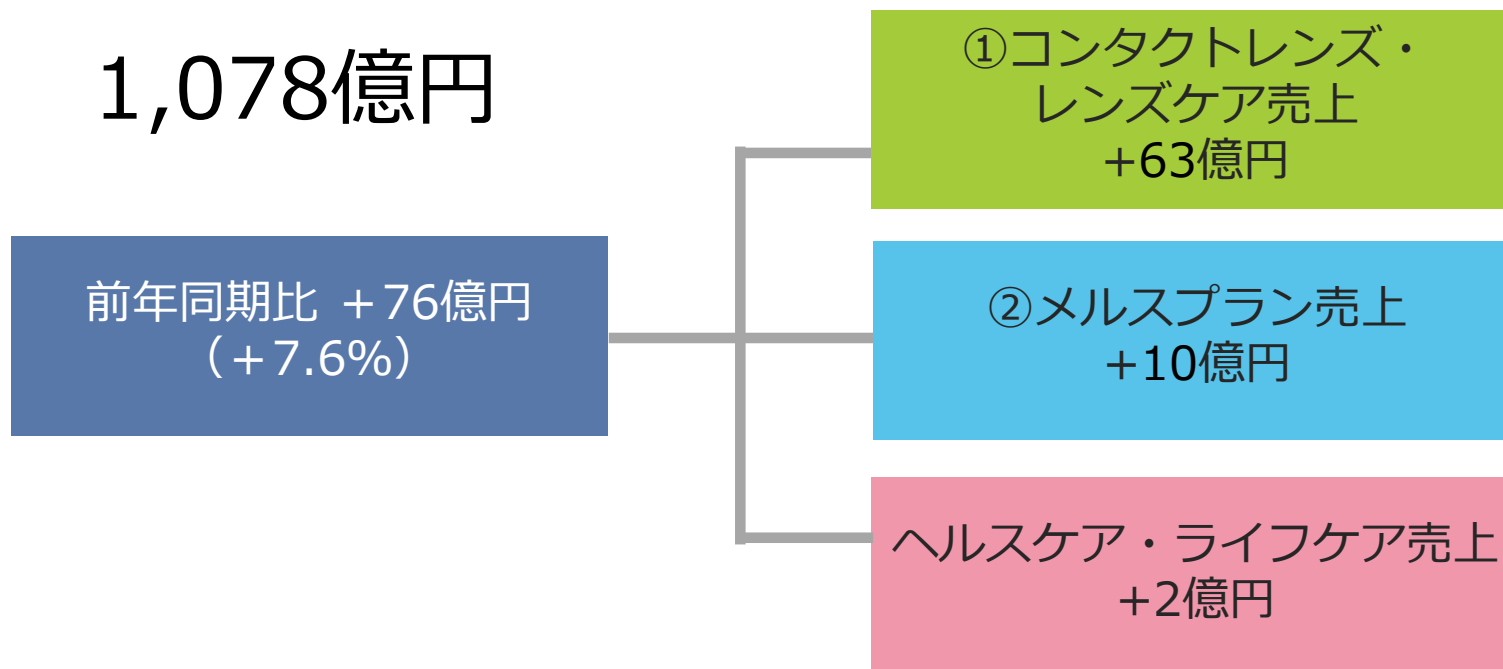
営業利益：通期予想 104億円

前年同期比 **+4億円 +4.4%**

## 連結業績予想

		百万円				
		2022年3月期	2023年3月期 予想	差 異	増減率	
売	上	高	<b>100,172</b>	<b>107,800</b>	+7,627	+7.6%
売	上	原 価	47,293	50,500	+3,206	+6.8%
(	原 価 率 )		47.2%	46.8%	(△0.4pt)	---
売	上	総 利 益	52,879	57,300	+4,420	+8.4%
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費			42,922	46,900	+3,977	+9.3%
(	売 上 高 販 管 費 率 )		42.8%	43.5%	(+0.7pt)	---
営	業	利 益	<b>9,957</b>	<b>10,400</b>	+442	+4.4%
(	売 上 高 営 業 利 益 率 )		9.9%	9.6%	(△0.3pt)	---
経	常	利 益	<b>10,055</b>	<b>10,100</b>	+44	+0.4%
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る			<b>6,481</b>	<b>6,800</b>	+318	+4.9%
当 期 純 利 益						
1 株 当 た り			85.72円	89.65円	+3.93円	---
当 期 純 利 益						

## 連結売上高予想

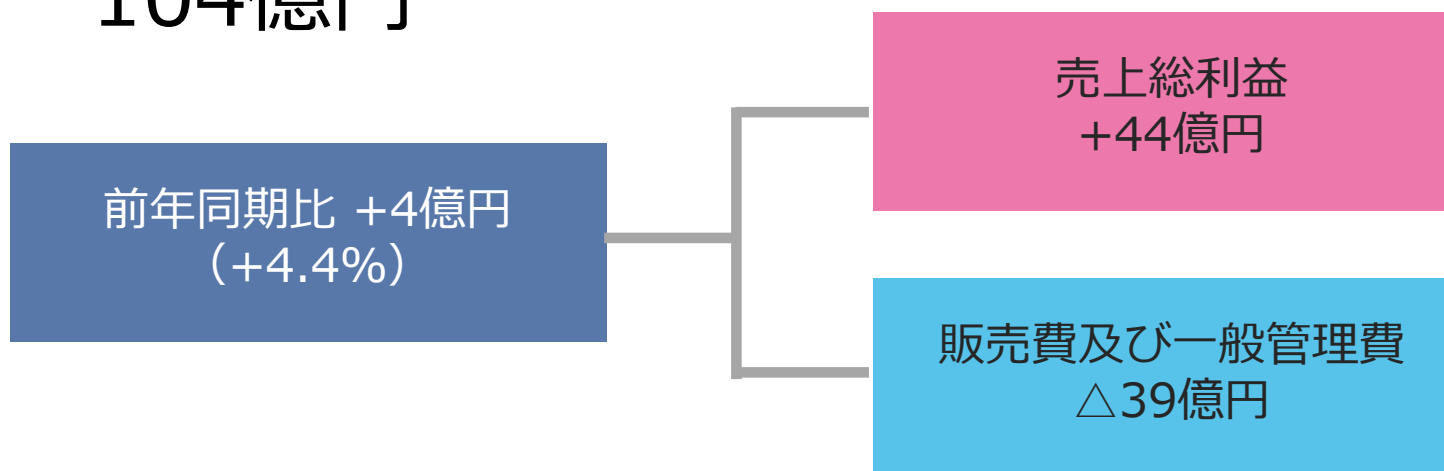


### 主な理由

- ①中国におけるオルソケラトロジーレンズとレンズケアの販売増加を予想
- ②1 DAYを中心としたメルスプラン会員数の増加を予想

## 連結営業利益予想

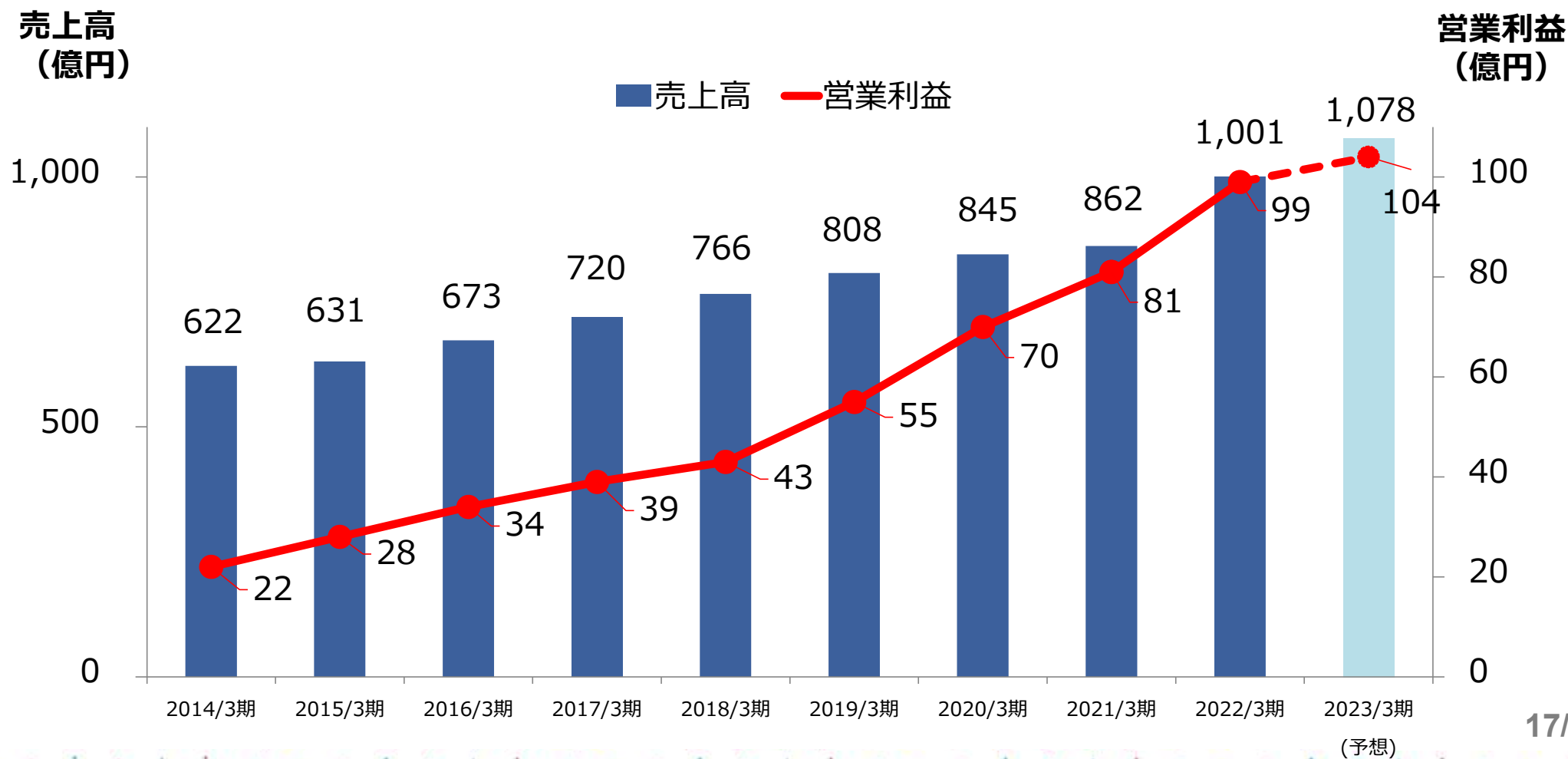
104億円



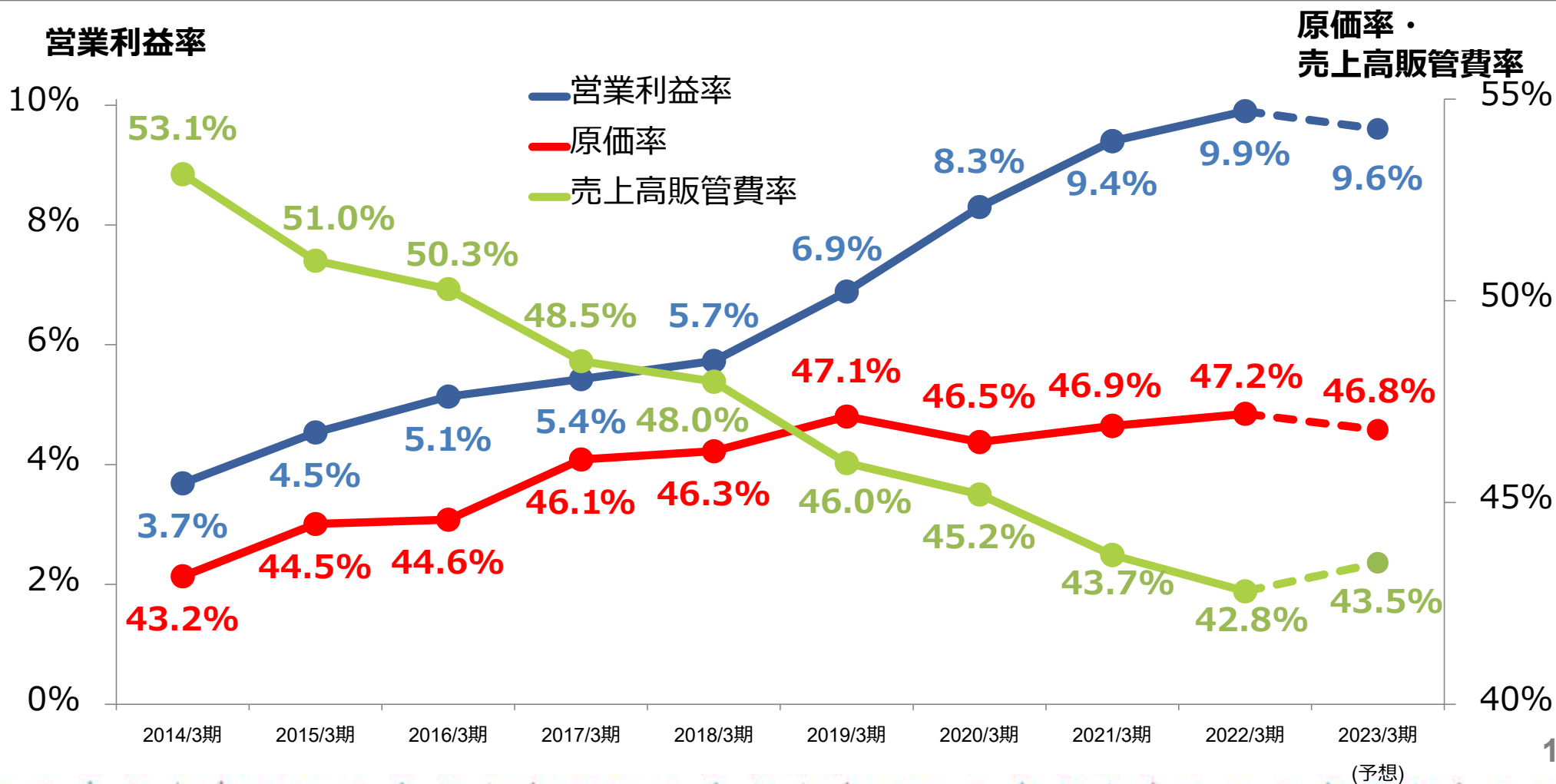
### 主な理由

売上高増加に伴い売上総利益は増加を予想  
販売促進費を中心とした費用の使用増加を予定

# 連結売上高・連結営業利益推移



# 原価率・売上高販管費率・営業利益率推移





## 配当予想

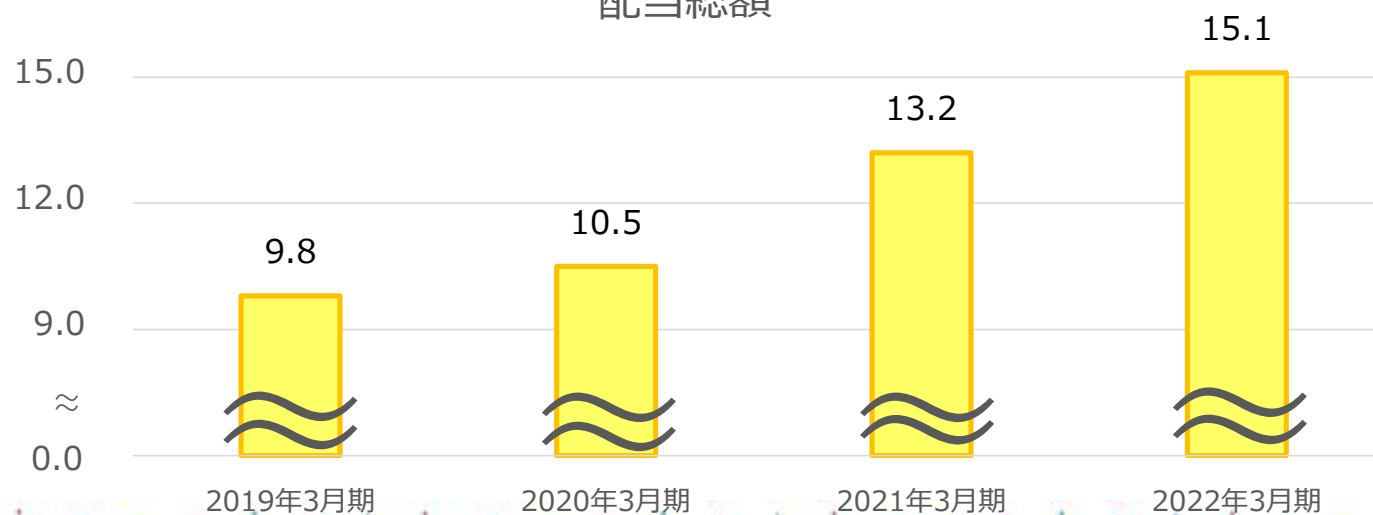
- ✓ 2022年3月期 1株当たり**20円**
- ✓ 2023年3月期 1株当たり**20円**の年間配当を予想

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期 (予想)
1株当たり配当金※	14円	14円	17.5円 普通配当 15円 記念配当 2.5円	20円	20円
配当性向	27.6%	24.9%	22.2%	23.3%	22.3%

※2019年3月期の期初に株式分割されたと仮定して計算

単位:億円

配当総額



## Ⅲ. 中期経営計画の進捗「Vision2030」

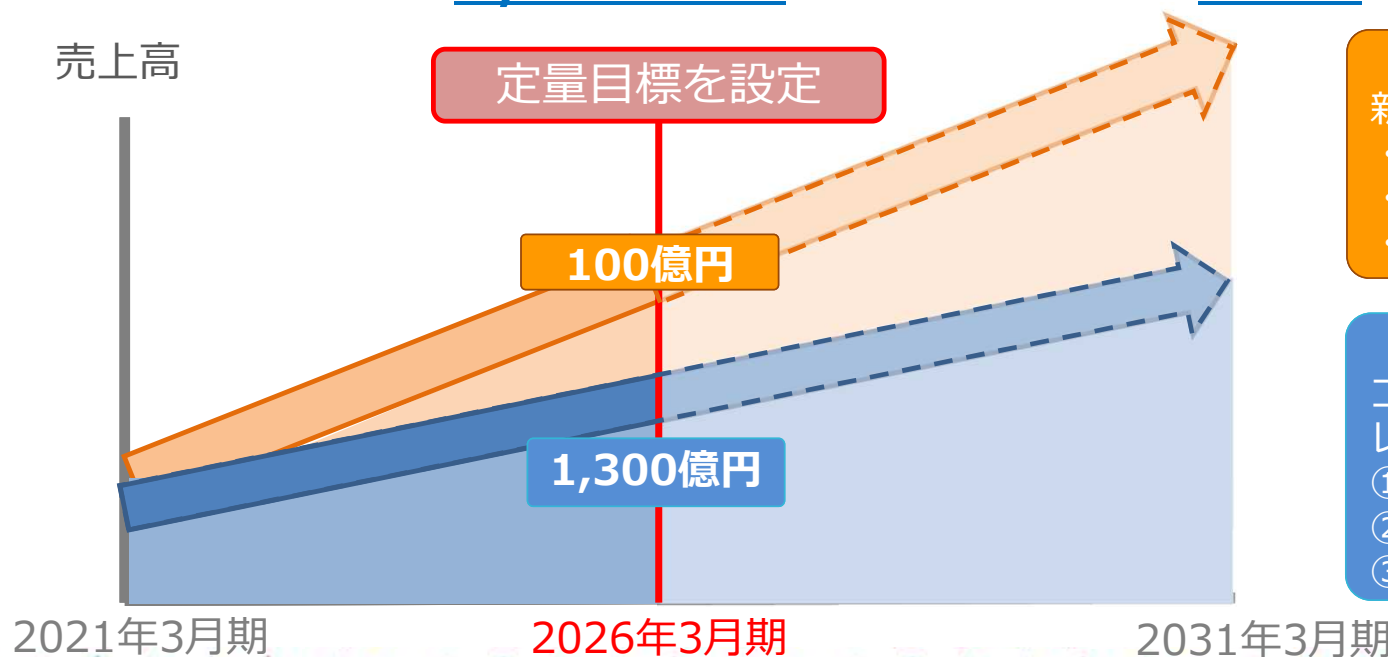
# 新しい「みる」を世界に

## New Vision of Miru for the World

定量目標 2026年3月期

売上高: 1,400億円 営業利益率: 12% ROE: 10%

売上高



### 【ヘルスケア・ライフケア】

新たな事業を展開

- ・ ペットライフ
- ・ 健康/食品ビジネス
- ・ 環境ビジネス

### 【ビジョンケア】

コンタクトレンズ及び  
レンズケア事業の更なる拡大

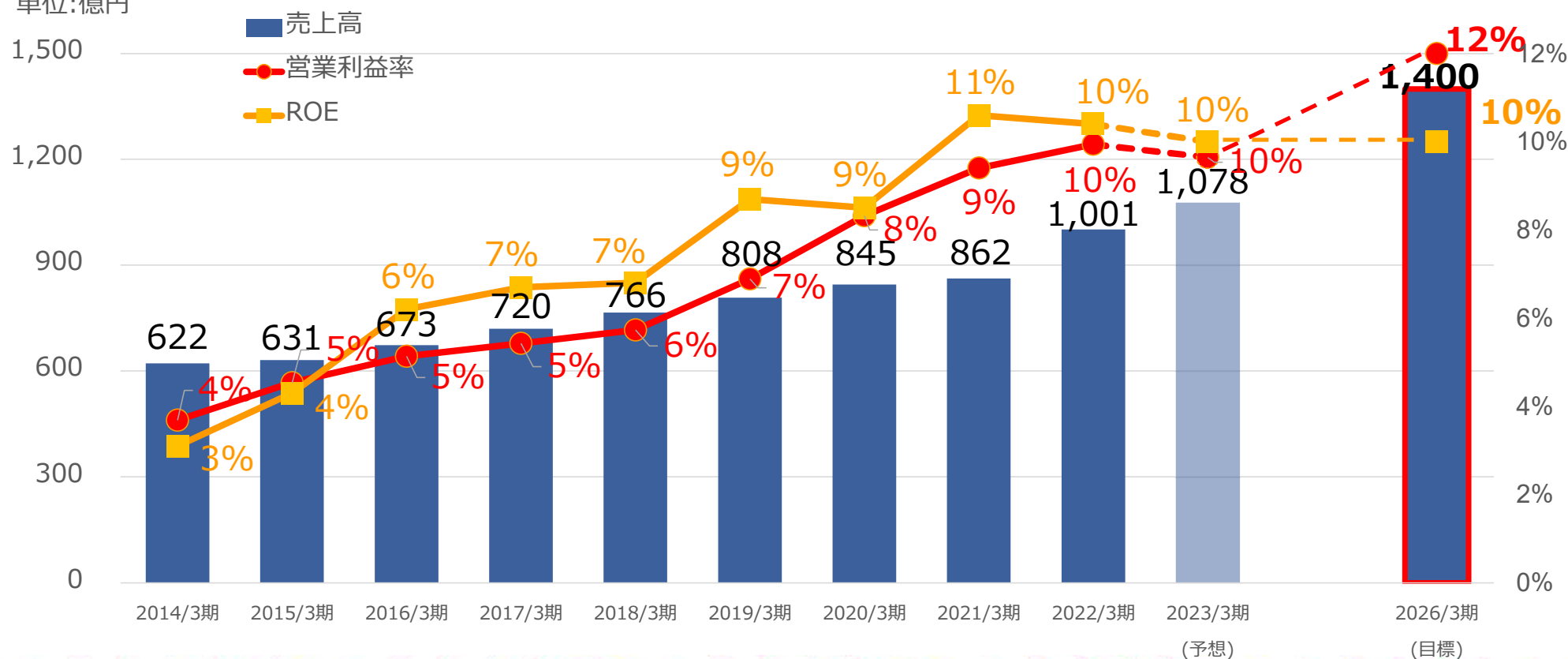
- ① 海外売上拡大
- ② メルスプラン拡大
- ③ 1DAY販売拡大

# 売上高・営業利益率・ROE

✓ 2022年3月期(実績) 売上高：**1,001億円** 営業利益率：**10%** ROE：**10%**

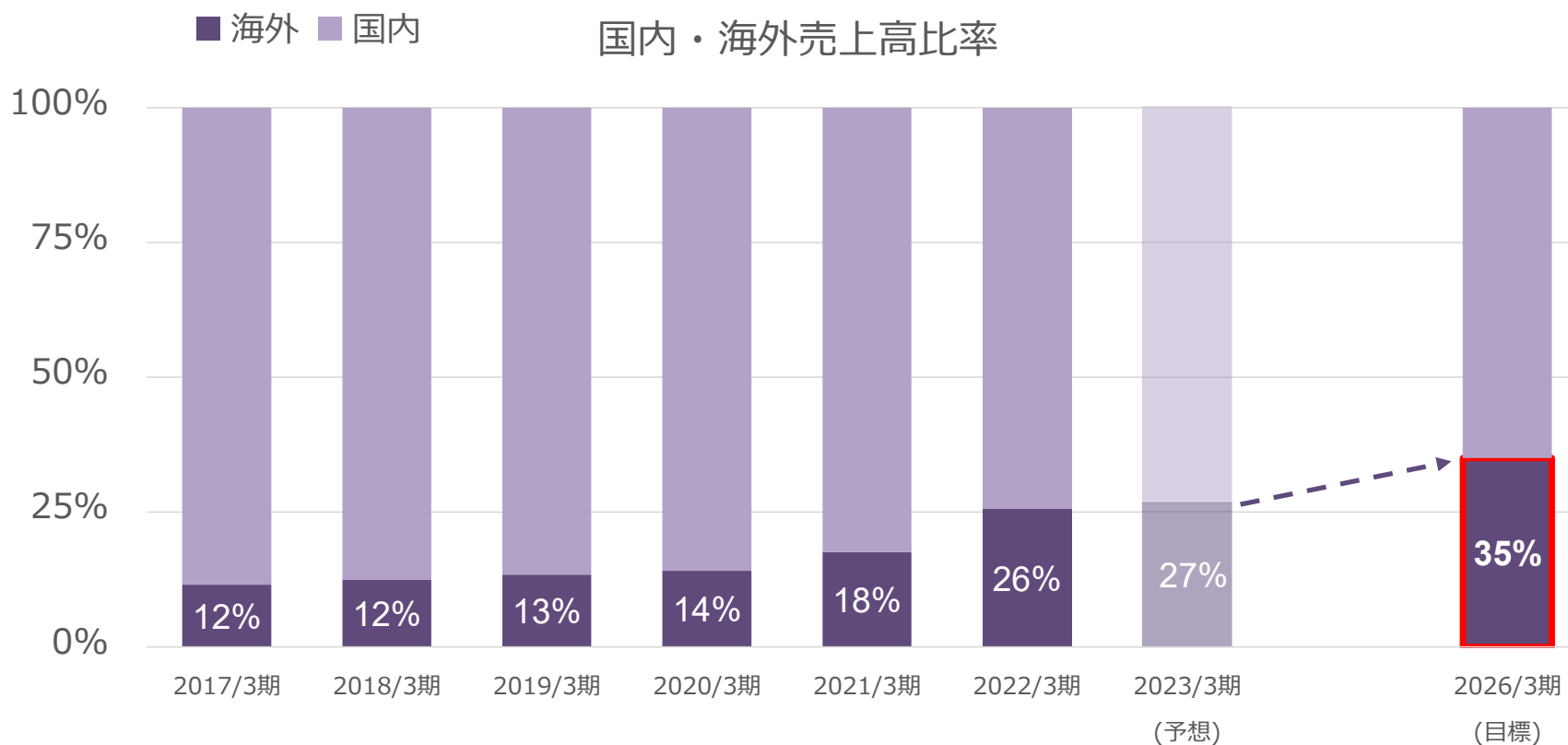
✓ 2026年3月期の目標に向け、堅調に推移

単位:億円



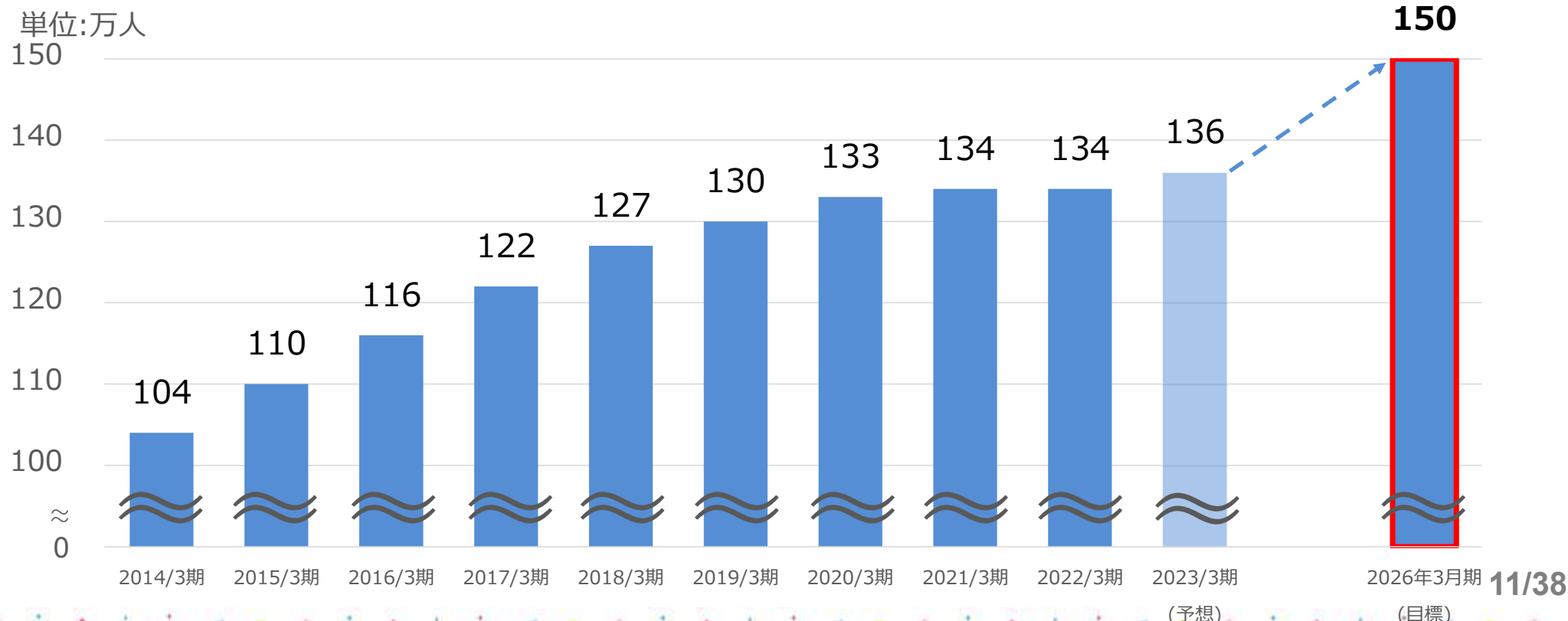
## ①海外売上高拡大（比率の上昇）

- ✓ 2022年3月期(実績)：**26%** 2026年3月期(目標)：**35%**
- ✓ 1 DAYやオルソケラトロジーレンズ及びレンズケアの販売を拡大



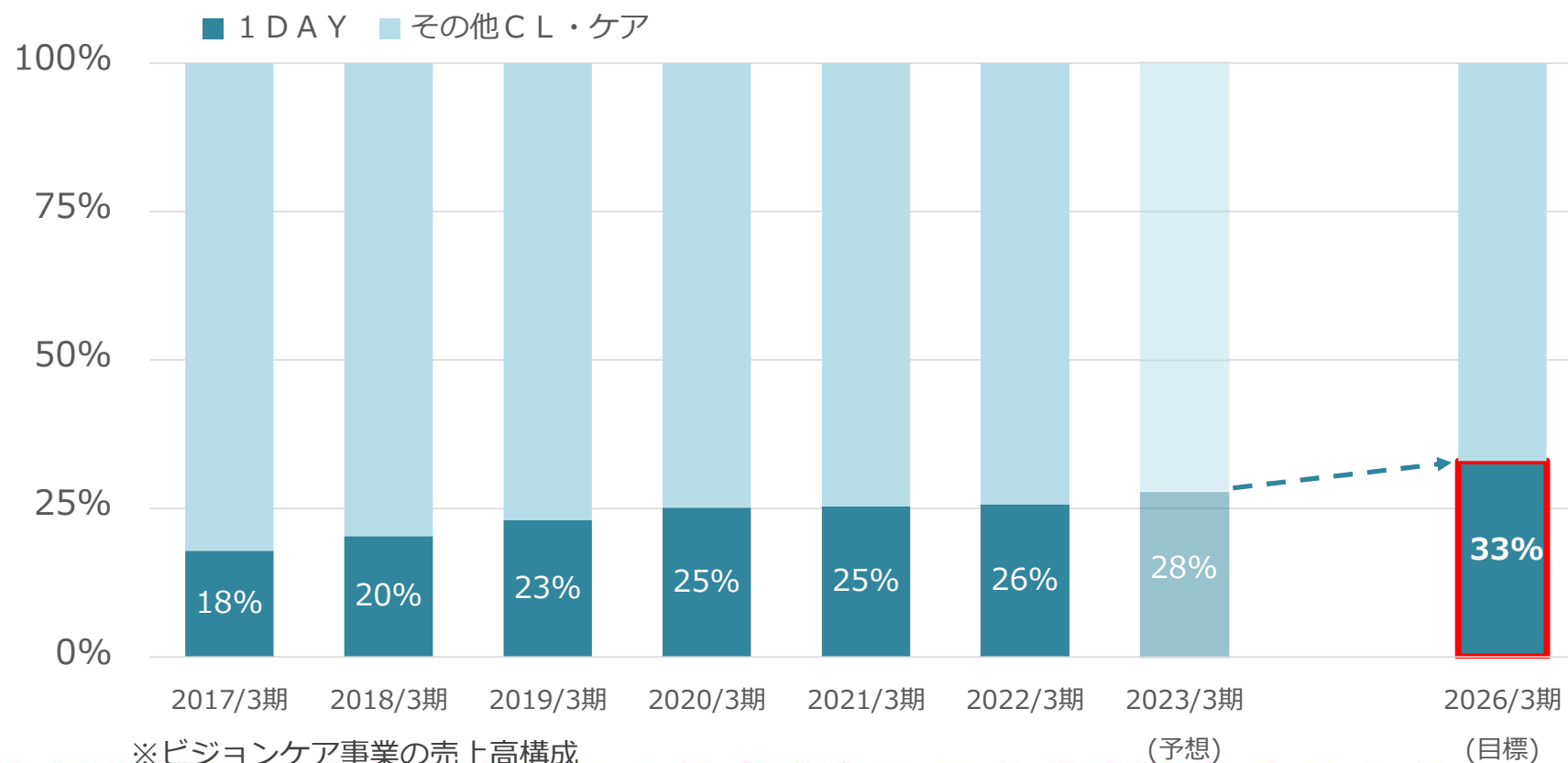
## ②メルスプランの更なる拡大

- ✓ 2022年3月期(実績) : **134万人**    2026年3月期(目標) : **150万人**
- ✓ 商品ラインアップ拡充や販売網の強化に加え、プロモーション活動を実施



### ③ 1 DAY販売拡大（比率の上昇）

- ✓ 2022年3月期(実績)：**26%** 2026年3月期(目標)：**33%**
- ✓ 国内はメルスプランの会員獲得、海外は大手量販チェーンでのユーザー獲得



※ビジョンケア事業の売上高構成

(予想)

(目標)

# ヘルスケア・ライフケア事業の拡大

✓ 2022年3月期(実績) : **65億円**    2026年3月期(目標) : **100億円**

✓ 事業領域をさらに拡大

単位:億円



## IV.成長戦略

### ビジョンケア

- ✓ マレーシアに1 DAY新工場設立
- ✓ 遠近両用コンタクトシリーズ「Lactive（ラクティブ）」
- ✓ 若年層向けのコンテンツ展開
- ✓ 近視進行抑制システム「Menicon Bloom™」

### ヘルスケア・ライフケア

- ✓ ライフサポート事業
- ✓ 食品事業の更なる拡大



ビジョンケア  
1DAY

# マレーシアに1 DAY新工場設立

- ✓ 1日使い捨てコンタクトレンズの生産能力を増強するため、マレーシアに新工場を設立
- ✓ 生産数は年間5億枚程度  
(各務原工場と同規模)
- ✓ 2022年8月 着工  
2023年12月 建屋完成  
2025年 稼働開始
- ✓ 太陽光パネル設置など、環境にも配慮した設計



【新工場の概要】

完成予想図

敷地面積	約20万㎡
延床面積	約4万5千㎡
工場概要	地上1階 (工場) 地上2階 (事務所等)

ビジョンケア  
国内

# 遠近両用コンタクトシリーズ「Lactive（ラクティブ）」

- ✓ 遠近両用コンタクトレンズシリーズを「Lactive(ラクティブ)」とネーミング、新CMキャラクターに櫻井翔さんを起用し、テレビコマーシャルを展開

# Lactive

**2025年度 国内売上目標**

小売り売上ベース **100億円**

シェア**25%**（国内シェアNo.1）

1 DAY	2 WEEK	3 MONTH (ハードコンタクトレンズ)	コンベンショナル (ハードコンタクトレンズ)	カラーコンタクト
 <p>2022年1月より ラインアップ</p>				Coming soon!?

ビジョンケア  
国内

## 若年層向けのコンテンツ展開

- ✓ 若年層向けのコンテンツを展開、遠近両用による高齢層への訴求と合わせ、会員層の拡大とコンタクトレンズユーザーのLife Time Value拡大を目指す



[https://www.menicon.co.jp/campaign/es\\_menicon/](https://www.menicon.co.jp/campaign/es_menicon/)

## 近視進行抑制システム「Menicon Bloom™」

- ✓ 近視進行抑制システム「Menicon Bloom™」2019年にオランダに導入
- ✓ 2022年3月より、英国,フランス,スペイン,イタリア,オーストリア,オーストラリア,シンガポールの7カ国へも展開

SEE THEIR  
IMAGINATION  
BLOOM

Menicon  
BLOOM™



ヘルスケア・  
ライフケア

## ライフサポート事業

✓ ヘルスケア向けサプリメントのラインアップを充実

「めにサプリ プラセンタ」  
2021年5月



多様な有用物質が含まれる  
「プラセンタ」を厳選  
高品質な国産プラセンタ  
原料を贅沢に配合

健やかで美しく  
生き活きとした  
健康美活をサポート

「めにサプリ食物繊維イヌリン+乳酸菌」  
2021年12月



善玉菌をサポートする水溶  
性食物繊維「イヌリン」と、  
約100億個の「乳酸菌」を  
配合

「イヌリン」と「乳酸菌」  
のダブルのチカラで  
『腸活』や『菌活』を応援



ヘルスケア・  
ライフケア

## 食品事業の更なる拡大

- ✓ ヘルスケア・ライフケア事業の柱として、食品事業の売上規模をさらに拡大
- ✓ 新規取引先の開拓や販売地域の拡大により、収益性の向上も目指す



輸出（鮮魚等）

新鮮な鮮魚を  
東南アジアや北米へ出荷



輸出(日本米)

こだわりの日本米を  
中国・北米等へ輸出



輸入(乾物等)

中国等から輸入し  
国内で加工販売



国内仕入・国内販売  
(胡麻ドレッシング)

添加物不使用  
風味とコクに自信

# 免責事項及び将来見通しに関する注意事項

## 免責事項

この資料は投資家の皆様の参考に資するため、株式会社メニコン（以下、「当社」という。）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

当資料に記載された内容は、2022年5月12日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

投資を行う際は、必ず投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。

## 将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料並びに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

お問合せ先  
株式会社メニコン 経営企画部 財務&IRチーム

E-mail : [menicon-ir@menicon.co.jp](mailto:menicon-ir@menicon.co.jp)  
[www.menicon.co.jp/company](http://www.menicon.co.jp/company)